



訪問看護師のための小児看護スキルアップ研修会

責任者：相墨 生恵

共同者：三井 美波

令和6年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

活動の概要

【目的】①小児利用者受け入れへの不安軽減

②ネットワークづくり

③岩手県内の小児訪問看護における質の向上

【対象】小児看護や小児利用者の受け入れ経験の少ない訪問看護師

【内容】講義：小児の形態機能学的特徴や特有の看護技術

演習：モデル人形を活用した、訪問看護の現場に必要な看護技術

座談会：他の事業所の看護師同士での交流

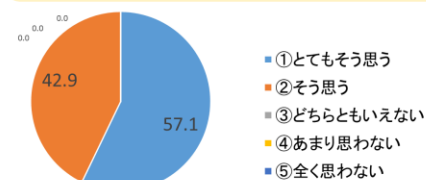
活動の成果

【参加者】午前：7名 午後：8名

【成果】

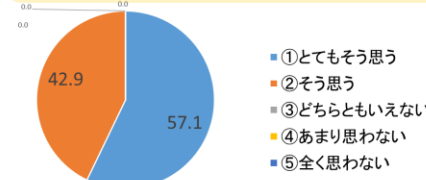
- ・アンケート結果より、参加者の満足度は高かった。
- ・事前に学びたい看護技術を確認し、内容を構成したことも満足度の高さにつながったと考える。
- ・少人数であることを活かし、講師と近い位置で受講できる環境を整えたことも、参加者にとって有意義な研修会となった。
- ・他の事業所の看護師との交流もネットワークづくりの一助となった。

講義内容は期待したものであったか



- ・小児の成長発達と機能形態学的特徴を分かりやすく学べた
- ・明るい講義で興味を持てた
- ・小児に対する理解が短い時間で深まった
- ・小児看護の経験がなかったので、知識の振り返りができて良かった

知識の獲得につながったか



- ・明日からの小児訪問看護ですぐ役立つ知識が得られたため
- ・在宅のお母さんの意見は大切だと思った
- ・いろんな方たちの経験や、小児訪看の実際を知ることができた
- ・実際の現場で生かせる内容が充実していた
- ・小児の基本的な部分、成人との違いを説明して頂き分かりやすかった

技術演習内容は期待したものであったか



- ・気管カニューレの挿入の実践までできてありがたかった
- ・初めて経験することが多く、有意義だった
- ・学習の体験や、現場での困りごとなど、知ることができた
- ・小児医療に関わる事が少なく、とても勉強になった
- ・看護技術を少人数で実際に経験できたのでとてもよかった
- ・経験のない、ケアの実技ができてとても勉強になった

参加者アンケート
結果より